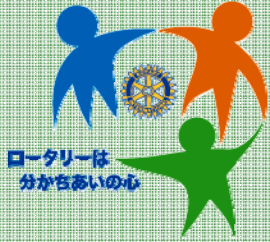


2007-2008 RI Presidents  
Wilfrid J. Wilkinson



### ＜本年度クラブ会長方針＞

# ENJOY ROTARY ふたたび



## 第1141回例会

### ロータリー財団日誌

於 名古屋東急ホテル

平成19年11月22日(木)

会員 69名

出席計算数62名中50名出席

出席率 80・65%

前々回出席率 96・77%

### ロータリーソング

「4つのテスト」

指揮者 渡辺 観水  
ピアノ伴奏 富板 玲子

### ピクチャー

名古屋RC 水野 忠さん  
名古屋東RC 平松 征男さん

### ニコボックス

鈴木さん卓話を楽しんでください。

堀江 英弥・草野 勝彦  
鈴木さん、おもしろい話をお願い

します。高木 政義  
新入会員卓話をさせていただきます。

よろしくお願ひいたします。  
鈴木 基仁

鈴木さん、卓話を楽しみにしてい

ます。  
加藤 正樹・藤田 澈

高木さん、マイケルをよろしく。  
吉田 隆彦

加藤さんありがとうございます。

尾上 昇

寒くなりました、お体に気をつけてください。

前田 隆久・小野 定男

### 会長挨拶

会長 堀江 英弥



先々週は柿についてお話ししましたが、今週はシーズン真只中の牡蠣についてお話をさせていただきます。

『日本山海名産図鑑』には「石について動くことなければ、雌雄の道なし。皆、牡(オス)なりとするが、故に牡蠣(ホレイ)と言つ。蠣(レイ)とは貝の類大で、ブドウの房のように沢山の貝がくっついてる様を言つ。」と書かれていて、実際は産卵が終わると雌雄がなくなり、産卵期に栄養がとれなかつた牡蠣は雄に、栄養を取つた牡蠣は雌になると言われています。西洋ではRのつかない月のものは食へるな。といわれていて、日本でも同様で、産卵期の5〜8月は精巣と卵巣が大きくなり、食用に

むかず、また、海が汚れやすく雑菌を多く取り込むので食へないほうが無難です。ただ、イワガキのように夏でも食べられるものもあります。



牡蠣は世界中に約80種ほどあり、一枚貝特有の貝柱が普通2個あるところ、ほたて貝と同じように1個しかありません。日本で食べられている牡蠣は大半がマガキで、フランスなどの高級食材だったヨーロッパ産のヨーロッパヒラガキは1970年代以降、寄生虫などにより激減して、現在は日本由来のマガキがほとんどです。牡蠣は海のミルクといわれ完全栄養食品で、蛋白質、亜鉛などミネラルいっぱい食物です。カキフライ、カキなべなどで寒くなるころからを元気に過してみよう。

### 名古屋大須RC 細則改定の件

クラブ細則第14条により、名古屋大須RC細則第1条第1節(a)及び第2条が改正されました。

### 新入会員卓話

公認会計士業界について

鈴木 基仁さん



新入会員卓話ということで、お時間をいただきました。今日は、私の属しております会計士業界の話を見せて頂きたいと思っております。あまり一般的には縁のない職種ですので、少しでも皆様に分かっていただけたら幸いに思います。まず、会計士の人数ですが、現在、日本では公認会計士とインターンの、計約2万4千人が仕事をしております。次に公認会計士の仕事のうちですが、公認会計士法第1条に、次のような記載があります。「公認会計士は、監査及び会計の専門家として、独立した立場において、財務書類その他の財務に関する情報の信頼性を確保することにより、会社等の公正な事業活

動、投資者及び債権者等の保護を図り、もって国民経済の健全な発展に寄与することを使命とする。「ひらいたく言えは、「企業等は放っておけば自分に都合のいい決算書を好き勝手につくるものだから、第三者としてチェックをする。」というのが、私たちから与えられた使命といえます。



元来、会計士制度というものは欧米より発展した制度ですが、欧米は「承知のように」性悪説の世界でして、英国から始まった資本主義の発展によって所有と経営の分離が進み、また、企業の国際化・巨大化に伴って利害関係者が急増し、影響する金額も巨額となり、誰かが経営内容をチェックしないと経営者は粉飾をし、それによって市場経済が混乱する危険がある。また、経営者についても第三者のチェックを受けなければ自分の適正性を信じてもらえない、といった、利害関係者、経営者双方の事情、必要性のために発展してきた

制度といえます。

私たち公認会計士は、「公正な第三者」として、会社等の財務内容のチェックを通じて、究極の目的としては、「市場経済の健全な発展」と、「公共の利益の擁護」に貢献することを使命としています。本日は監査法人の専攻の状況を中心とした監査体制、試験制度、会計士に対する監視機関の話もさせていただきますました。ご静聴、ありがとうございます。

①ロータリー知識  
The Rotary Foundation Month

RFでは毎年11月を「ロータリー財団月間」と定め財団の主旨を啓発宣伝する「クラブ・プログラム」を計画、実行するよう奨励している。

②ロータリー財団  
The Rotary Foundation = RF

教育慈善博愛の事業によって世界の諸国民の、より良き理解と友好関係を増進するために1917年に6人目のアーチ・ウランフRI会長の奉仕への絶えざる熱意によって基金として発足した非営利財団法人。1928年ミネアポリス国際大会で「ロータリー財団」と名付けられた。会長エレクトを含め理事会メンバーから提出

された推薦の中から理事会が選出した15名の管理委員(任期4年無報酬：うち4名は元RI会長)により、地域レベル、全国レベル、国際レベルの人的、教育的、文化交流目的のみ運営され、その活動は、世界中から認められ、現在下記の通りさまざまな活動を展開している。各地区には地区ロータリー財団委員会を設置しなければならない。更に小委員会を設置するよう勧奨している。また、ロータリー・ボランティア補助金と大学教員のための補助金を除いてロータリアンとロータリー関係者(職員)および家族は受益者となれない。これはロータリーの利他の奉仕の基本的考えによるものである。

◎財団活動には下記のプログラムがある。

- 1. 人道的プログラム
  - ・地区補助金
  - ・個人向け補助金
  - ・マッチング・グラント
  - ・保健、飢餓追放および人間性尊重補助金(3H補助金)

- 2. 教育的プログラム
  - ・国際親善奨学金
  - ・研究グループ交換
  - ・大学教員のためのロータリー補助金

- ・ロータリー世界平和フェローシップ
- ・ロータリー平和および紛争解決研究プログラム

3. ポリオ・プラスプログラム

③ポリオ・プラスプログラム  
Polio Plus Program

「ポリオ・プラス」全世界の児童に予防接種をテーマにポリオ、その他ワクチンで予防できる疾病(ハシカ、ジフテリア・結核・百日せき・破傷風の免疫を世界中の児童に受けさせる力になること)1986年7月正式に発足したロータリー財団プログラム。当初3年間で米貨1億2千万ドルを集め世界保健機関(WHO)の免疫付与拡大プログラムを支援することであった。2年間で目標額を達成したためRIのキャンペーンは1988年6月で終了し、米貨2億4千万ドルが集った。日本は40億円の巨額目標のため募金期間を5年とし、1991年6月に終了し、49億円集めた。約100カ国にポリオ・プラス補助金が授けられた。

財団では5年が過ぎてもポリオ撲滅まで予防接種を支援しつづけることになっている。WHOでは、ポリオ撲滅には10億ドルが必要とされ、不足する残り4億ドルのうち、ロータリーで8,000

万ドル(ロータリーガイドル集めることビル・ゲイツ財団ガイドル、さらに世界銀行から3億ドルの比率で加算されるので4億ドルの5分の1)を集めて支援しようとして、2002年4月より8,000万ドルのポリオ撲滅募金キャンペーン(Polio Eradication Fundraising Campaign: PEFC)が始まっている。日本の場合には誓約で3年間(2002年7月から2005年6月まで)に1,600万ドル集めることを目標としている。2005年3月末現在で日本の寄付額は1,350万ドルに達している。

管理委員会は、ポリオの撲滅が世界的に証明されるまで国際ポリオ委員会(IPPC)を継続することに同意し、ポリオ発生源とWHOにポリオ・プラス補助金を承認した。



12月6日例会の「案内」

年次総会

広報委員会

- 内藤 明・近藤宏一郎
- 小島 雅尚・杉浦 令淑
- 犬飼 芳雄・長野 弘